

## 栃木県足利市における木質バイオマス発電所建設について

エクシオグループ株式会社（本社:東京都渋谷区、代表取締役社長：船橋哲也）と株式会社あしかがエコパワー（本社:栃木県足利市山下町、代表取締役：菊地巖）は、栃木県足利市山下町において、木質バイオマス発電所建設に着手し、2024年3月より営業運転を開始する予定です。

栃木県近隣の林業関係者及びチップ会社のご協力のもと、年間約 85,000t の未利用材、一般木材、剪定枝を原料とする木質チップを栃木県周辺で集め、7,000kW のバイオマス発電施設を運営します。本発電設備は日本各地で安定稼働している高効率な三菱重工パワーインダストリー株式会社の木質バイオマス発電設備を採用しています。

自然由来の木質バイオマス 100%で運用するバイオマス発電所により、周辺地域で発生する未利用材、一般木材及び剪定枝を有効に使うシステムを、足利市のご協力により構築し、地域経済の活性化を図ると同時に森林の健全な再生・成長を支援してまいります。

### 【足利市プラントの事業概要】

事業地	栃木県足利市山下町字向山 2577 番 5 他
建設者	エクシオグループ株式会社及び株式会社あしかがエコパワー
出力規模	発電端：約 7,000 kW
想定年間発電量	約 5,544 万 kWh（一般家庭 15,000 世帯の年間使用電力量に相当）
燃料種類	近隣地域で集荷される木質チップ（未利用材、一般木材、剪定枝）
燃料使用量	年間約 85,000t
CO2 削減量	年間 24,000 t
商業運転開始	2024 年 3 月（予定）

※事業概要は本件発表時点での計画であり、今後変更となる場合があります。



(完成イメージ図)



### 【本件に関するお問い合わせ先】

エクシオグループ株式会社 総務部 CSR・広報室  
TEL：03-5778-1075 E-mail：koho@hqs.exeo.co.jp